



令和7年度 学校だより

まえばる

まごころで学び
えがおでふれあい
ねばりづよくがんばる子
題字:小川 啓華様

令和7年11月27日(木)

NO.13
糸島市立前原小学校
校長 重富 紀子

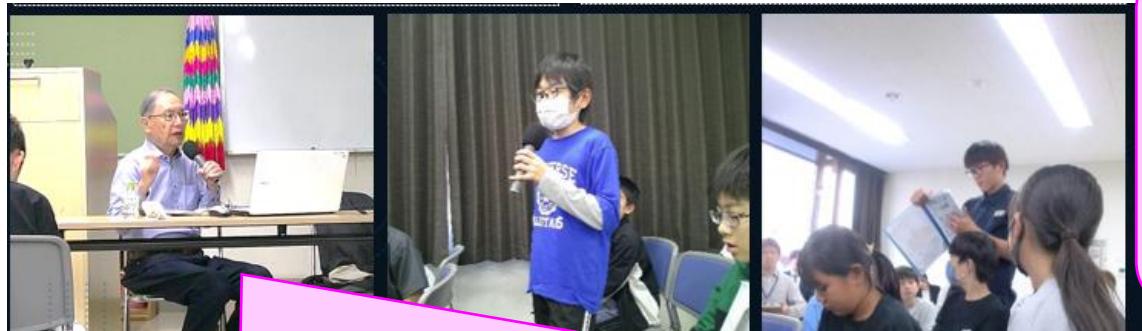
6年生・修学旅行・平和集会

11月7日・8日、長崎を訪れ、平和公園前で前原小学校の代表として平和集会を行いました。集会では、前原小学校の平和宣言「わたしたちは未来を生きる子どもとして、平和な世の中をつくる一人として、努力することを誓います」と力強く宣言し、みんなの願いを込めた折り鶴を奉納しました。

戦争の悲惨さと平和の尊さを深く学び、未来に向けて平和を守る責任を強く意識する修学旅行となりました。今回の体験を心に刻み、これからも平和について、考え続けてほしいと思います。



6年生を中心に全校で、願いを込めて作成した折り鶴、3年生が作成した折り鶴、末松かいとさんのおばあさまが作成した折り鶴の3つを奉納しました。



被爆体験講話で、語り部の山川さんは「二度と被爆者をつくりられないことは可能だ」と熱く語られました。その言葉を聞き逃すまいと、問いかけにしっかり反応し、真剣にメモを取る姿が見られました。振り返りでは、「被爆国に生まれた者として、その悲惨さや恐ろしさを伝えていきたい」という声。被爆者の高齢化が進む中、貴重な講話を聞かせていただいたことに心から感謝いたします。



原爆資料館見学やフィールドワーク(山里小・如己堂・浦上天主堂)で、被爆の実態や人々の思いについて学びました。



18日には、報告会を実施。全校の子どもたちに修学旅行での学びを発信してくれました。

5年生：自然体験教室 心を合わせて

11月14・15日、「海の中道青少年海の家」で自然体験教室に参加しました。天候にも恵まれ、野外炊飯でのカレー作り、キャンプファイヤー、カッター教室、ロープワークなど、自然を感じながらの活動に全員が精一杯取り組みました。施設の方からは、「どの活動も時間どおりに進められたことは素晴らしいことです。これは、皆さん自分が自分の役割を自覚し、互いに声を掛け合って活動した成果です。」とお褒めの言葉をいただきました。前原小を引っ張る6年生になるために、協力して活動に取り組みたい！！という、子どもたちの意気込みが感じられる自然体験教室となりました。



「いち、に！いち、に！」と声を合わせ、オールを力強くこぎ続ける子どもたち。最初は息をそろえるのが難しかったけれど、声を掛け合い、タイミングを合わせるうちに、船はぐんぐん進みました。



火起こしから調理まで、すべて自分たちの力で挑戦した野外炊飯。協力し、声を掛け合って作ったカレーの味は、格別でした。



友情・感謝・努力・笑顔の火を灯しました。みんなで踊ったダンス、みんなで歌った「オワリハジマリ」の歌。歌声が夜空に響いたとき、参加者みんなの心に大きな感動が広がりました。

地域の皆様、ご協力ありがとうございます!!



1年生
シニアクラブの皆さんに、けん玉・コマ回し・お手玉など昔遊びを教えてもらいました。



2年生
前原商店街にお店のひみつを見つけに行きました。お店の人におたくさん質問し、驚きと発見がありました。



3年生
消防署を見学し、消防車や救急車のしくみを学びました。命を守る仕事の大切さを実感しました。

4年生
「すみよいまちってどんなまち？」について、子どもや高齢者、障がいのある方など様々な立場の人をお招きし、話を伺いました。

